



第31回鬼貫顕彰俳句

鬼貫賞（小学校・中学校の部）
受賞者決定

【小学校低学年の部】

三好 結依名さん（神戸小1年）

かしわもち

かすたねつとに
にているね

【小学校高学年の部】

斧 宏砥さん（鈴原小4年）

夕立を

一人であびる

すべり台

【中学校の部】

吉本 静穂さん（松崎中3年）

水筒が

カランと鳴って
梅雨明ける

※（ ）内は、受賞当時の在籍校・学年

令和4年度

教育基本方針（要約）

はじめに

近年は、社会の変化が加速度を増し、新型コロナウイルス感染症への対応に象徴されるように、先の見通しが困難な時代となっています。子どもたちは、そのような時代をしながらに生き抜いていかなければなりません。

（1）教育の目的

時代や社会に適合し、自分らしく幸せな人生を送ることのできる力をつけることです。一人ひとりの児童生徒が自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる資質や能力を育むことです。

本論

（1）主体的・対話的で深い学び

令和4年度は、このことを視野に、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の学力の3本柱をバランスよく育むために、幼児期の教育から高等学校まで一貫して、子どもが学びの主体となる「主体的・対話的で深い学び」を実践してまいります。

（2）新たな発想に基づく教育の推進

コロナ禍の中で学びを止めないために苦勞して学び取ったオンライン授業など、ニューノーマルを積極的に実践してまいります。答えのない問題に対しては、もう一度原点に戻って考えるなど、物事の本質を見つめ、新たな発想に基づく教育を積極的に推進してまいります。

（3）学校の役割

コロナ禍で再認識された学校の役割である学力や学習機会の保障だけでなく、全人的な発達や成長を保障



伊丹市教育長 木下 誠

する役割を大切にしています。また、安心して人とつながることができる居場所としての役割や、身体的・精神的な健康を保障する役割を重視してまいります。

（4）推進にあたって

全ての教育活動において、良くも悪くも現状から目をそらさず、幼児期から高等学校までの「縦の連携」と、学校・家庭・地域などの「横の連携」を大切にし、あらゆる教育情報の積極的な公開を基本方針に本市の教育を推進してまいります。

結び

教育は日常生活に結びつくものでなければなりません。私たちがポストコロナの日常生活において、心がけなければならないことは何か。サイエンス・スピリチュアリティ・サステイナビリティではないかと思っています。

（1）サイエンス（科学）

新型コロナウイルス対応においても、ワクチン接種が切り札となったように、物事を進めるためには、専門家の科学的な知見を尊重しなければなりません。科学的なエビデンスに基づく対応が必要です。

（2）スピリチュアリティ（目に見えない力）

現在の科学では解明できない精神的叡智（謙虚な気持ちで、つましく生きること）のことであり、これまで、サイエンスとは対立的な概念として捉えられてきました。科学技術のすばらしさを認める一方で、地球の温暖化に象徴されるように、その力をうまく使うことができていないのも事実です。科学だけを優先した「more & more」といった姿勢が地球の滅亡をもたらそうとしています。科学的知見と精神的叡智の緊密な連携が必要です。

（3）サステイナビリティ（持続可能性）

最近SDGsという言葉をよく聞くようになりました。これからの時代は、大量生産・大量消費・大量廃棄の時代ではありません。誰一人取り残さない社会の実現に向け、限りある資源を大切に使うことや、全ての子どもが最適な学校生活を送ることができるよう、人的、物的な環境整備に努めてまいります。

令和4年度
基本方針本文は
こちらから



○ダイハツものづくり教室（瑞穂小学校）



○トライやる・ウィークでの防災教育（天王寺川中学校）

第5回

伊丹市学校給食 献立コンクールを実施

市教育委員会は昨年度に引き続き、子どもの学校給食に対する意識を高める取り組みとして、市内小・中学生を対象に「学校給食献立コンクール」を実施しました。

栄養バランスを考え、地元産食材を盛り込むなど、創意工夫した給食献立が多数応募されました。

応募総数は1848点で、審査の結果、小学校の部16作品、中学校の部16作品の計32作品が入賞作品に選ばれました。



稲野小学校 馬場先 巧翔さん



小学校

●まめまめカレー



荒牧中学校 本井 優奈さん



中学校

- ごはん
- チキンのトマト煮込み
- ブロッコリーとベーコンのにんにく炒め
- 玉ねぎと生姜のスープ

学びに向かう力(非認知能力)で 幼小の接続を



伊丹市教育委員 瀧川光治

はぐくみ

伊丹の教育の特色の一つは、幼児教育の重要性、とくに非認知能力の育成を大切にしていることにあります。新たな学習指導要領に示された資質・能力の三つ柱の中の一つ「学びに向かう力・人間性等」は、非認知能力のことです。非認知能力には、自信や自己肯定感、物事に対する興味・関心や好奇心・探究心、やり抜く力、人と関わる力などが含まれています。幼児期の子どもは色々な遊びや活動にトキメキを感じながら、楽しんで夢中になっていく中で、「こうやったらかうなるんだ!」「こうやったらうまくいくけど、違うやり方ならうまくいかない!」という気づきが生まれます。

そして、「じゃ、次はこうやってみたらどうなるかな?」と新たなヒラメキを試して、工夫し始めます。その過程で新たな気づきや発見が生まれてきます。この体験の中の気づきや発見が「学び」生きた知識になります。

このように幼児期の子どもは「学びに向かう力」(非認知能力)を土台に、トキメキ、ヒラメキ、気づき・発見が絡み合いながら育っていき、その中で感じる楽しさや喜び、満足感や達成感によって、その遊びや活動を好きになっていきます。その結果、自信や自己肯定感が育まれていくのです。

そのため、「生きた知識」を子ども自身が獲得できるように、大人は子どもが夢中になって楽しんで好きになっていくようにサポートすることが大切です。そして、それを「おもしろいなあ」「すごいなあ」という温かなまなざしで受け止め、共感することによって、より自信・自己肯定感が育まれていきます。

そのため、伊丹市幼児教育ビジョンで「愛情・自然・ことば」として「愛情」を最初に入れているわけです。幼児期の育ちを小学校にうまくバトンをつなぐためには、①伊丹市内の就学前のすべての施設で共通理解を図り、②小学校低学年の教育への接続の仕組みを作ることが必要です。このような取り組みに今後も尽力していきたいと思えます。

人権教育シリーズ

愉しみなお出かけ

市人権教育指導員 緑丘小学校長 和久学



一人暮らしの母が、車いすでの生活となり、外出する際の押し役は、息子である私がすることになりました。街に出かけたとき、歩く時の視線を、普段とは変える必要があることに気づいたのです。それは足元。段差やこぼれを避けるために、少し先を見て押さなければなりません。

また、道の勾配も厄介です。特に、上りよりも下り坂の方に注意が必要です。車いすのコントロールを最優先に、目配りをしながら進むという目線でした。

嬉しく思ったこともあり、すれ違う人出会う人が、みなさん優しいのです。車いすが通り過ぎるのを待ってくださったり、ドアを開けていただいたりと、不自由がないように気を遣ってくださいます。トイレなども、「お先にどうぞ」と譲っていただきました。駅では、駅員さんが「何かお手伝いしましょうか?」と必ず声をかけてくださいます。

こんな優しい世の中だったのかと、み

なさんの優しさに心が熱くなりました。街中で優しさに出会い、お出かけが愉しみになるなんて、素敵なことではないですか。

学校現場においては、障がいのある人と健常者が一緒に学ぶ、「インクルーシブ教育」が導入されて久しくなりました。多様な子どもたちがいる学校生活で身に付けた優しさは、大人になってもしっかりと根付いていきます。

また、中教審の答申に、「個別最適な学び」と「協働的な学び」という新たなキーワードが示されました。これは、何も勉強のことだけでなく、社会生活の中で、誰もが気持ち良く生きていくために役立つ学びと置き換えてもいいのではないかと考えています。

私たちみんなで、最適な世の中にしていくためにはありませんか。みなさんの優しさの中で暮らしてきた母は、89才で静かに旅立ちました。

「早寝・早起き・朝ごはん」 実践していますか?

「早寝・早起き・朝ごはん」ということばを一度は耳にしたことがある方も多いと思います。子ども達の健やかな心身の成長には、十分な休養・睡眠と調和のとれた食事などの基本的な生活習慣がとても大切です。

しかし、令和3年度全国学力・学習状況調査で、新型コロナウイルス感染拡大による学校の臨時休校期間中「規則正しい生活を送っていましたか」という質問に肯定的に回答した全国の児童生徒の割合は、小学生63.0%、中学生で48.4%という結果が出ました。

伊丹市では、図書ボランティアの協力による「早寝・早起き・朝ごはん」に関する紙芝居等の読み聞かせや、家庭教育推進員による保護者等へ「早寝・早起き・朝ごはん」の効用についての講話を行っています。子どもの基本的な生活習慣づくりには、家庭でのコミュニケーションも大変重要です。将来を担う子ども達のために、大人も子どもと一緒に「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとする基本的な生活習慣について考え、無理せずできることから実践してみませんか。



家庭教育キャラクター
クローバーちゃん

第3日曜日は「家庭の日」
だんらんホリデーです♪
だんらんホリデーは、子どもと一緒に楽しむことや、家族団らんの機会を進んでつくり、心触れ合う明るい家庭づくりに努めるなど、いつでもみんなが家庭や家族について改めて考えることを目的としています。第3日曜日には、市内各所の多数の店舗等に協賛いただいておりますので、是非ご利用ください。詳しくは、伊丹市ホームページ・だんらんホリデーのチラシ(毎月発行)をご覧ください。

令和3年度伊丹市教育委員会賞、 ふれあい教育賞、伊丹市優秀教職員表彰、 伊丹市優良児童・生徒顕彰 受賞者決定

伊丹市教育委員会賞・ふれあい教育賞

教育・文化・スポーツの振興に功績のあった方々に贈られる「伊丹市教育委員会賞」、ボランティア活動などで貢献された方々に贈られる「ふれあい教育賞」の受賞者が決まりました。

(順不同・敬称略)

●教育委員会賞(団体)

▽ラストチャンス▽北摂ガールズシエロ
▽大阪ニューヤング▽公益財団法人修武館
▽水野啓子バトンスクール▽市立伊丹高等学校なぎなた部▽市立伊丹高等学校吹奏楽部

●教育委員会賞(個人)

▽山本沙絵(伊丹小・体操)▽堀古有香(天神川小・バドミントン)▽山本蒼大(荻野小・けん玉)▽中川陵牙(荻野小・バドミントン)▽立花仁貴(荒牧中・ボウリング)▽嶋津晴喜(南中・極真空手)▽孫田太陽(天王寺川中・バドミントン)▽横原凜・立花舞乃(松崎中・テニス)組▽寺井瑞希(天王寺川中・テニス)▽高田愛稀(松崎中・なぎなた)▽中村江里彩(東中・新体操)▽孫田太一(天王寺川中・バドミントン)▽栄海成(天王寺川中・柔道)▽島本春音・佐川由美香(市立伊丹高・なぎなた)組▽高田遥稀(市立伊丹高・なぎなた)▽阿比留紗月(市立伊丹高・なぎなた)▽阿比留紗月・佐川未菜美(市立伊丹高・なぎなた)組▽馬場丞太朗(市立伊丹高・レスリング)▽円尾敦子(トライアスロン)▽荒井祭里(飛込)▽加藤作子(水泳)▽中西麻耶(走り幅跳び)▽梅原紗月(陸上400mH)▽中畑友里(フライングフットボール)▽北間優衣(車いすバスケットボール)▽谷河勇綺(シッティングバレーボール)

●ふれあい教育賞(個人)

▽北川博彦(市内学校園初の学校運営協議会を会長として設立業務に人力するとともに、市内学校園初となる神津小学校運動場の芝生化の中心となり、現在も芝や学校園の管理に貢献)



●ふれあい教育賞(団体)

▽笹ポーター(地域とともにある学校づくり)に向けて、地域の教育力による様々な活動支援。児童と地域を結び付け、校内環境整備や休日の飼育支援により教職員の負担軽減にも貢献)

伊丹市優秀教職員表彰

学校教育活動において教職員の模範となる取組を行い、優れた成果をあげた教職員を対象に表彰しました。(順不同・敬称略)

▽大高貴史(鈴原小・PTAや地域との連携・開かれた学校づくり)▽佐古賢一(荻野小・研修・研究活動)▽吉井稔雄(天王寺川中・生徒指導・進路指導)

伊丹市優良児童・生徒顕彰

各種検定・技能資格等の取得において他の模範となる優れた成果を収めた市立学校に在籍する児童・生徒を対象に顕彰しました。(検定により顕彰の基準は異なります。)

英語検定：準1級11名、3級2級8名、準2級99名、3級32名
漢字検定：準1級11名、2級5名、準2級49名、3級8名
数学検定：準2級11名、3級1名、4級11名、5級11名
珠算・暗算検定：有段者9名、1級26名
ビジネス文書実務検定：1級11名
情報処理検定：1級2名、2級11名
簿記実務検定：1級11名
珠算・電卓実務検定：1級13名
全商英語検定：1級11名
(令和4年3月4日現在延べ272名)



伊丹市マスコット たみまる

第4回 伊丹でみつける・さぐる・かんがえる 図書館を使った調べる 学習コンクール開催!

知りたい事や解決したい事について、図書館などで調べた作品を募集する調べる学習コンクールを開催しました。

夏休みには、図書館での調べ方やまとめ方を学ぶ講座や、実験と図書館を使った調べる学習を組み合わせた「エジソンこうざ」「ガリレオこうざ」を、こども文化科学館、三菱電機株式会社、県立阪神昆陽高等学校と連携して開催し、多くの参加者が調べる楽しさを体験しました。



表彰式の様子
(令和3年10月31日 ことば蔵にて撮影)

応募作品は、昨年に東京オリンピックが開催されたこともあり、「世界の国旗」をテーマとした作品や伊丹の歴史にちなんだ作品など、楽しみながら調べた事が伝わる力作18作品が集まり、令和3年10月末にはことば蔵で表彰式を開催しました。全国コンクールには、「伊丹酒」や「山中鹿介」をテーマとした2作品を推薦し、佳作となりました。

今年もコンクールを開催し、作品を募集予定です。是非ご参加ください。



優秀賞・特別賞の作品は館内で展示
(令和3年12月22日 ことば蔵にて撮影)

YAスタッフ募集中!

ことば蔵2階の「ヤングアダルトコーナー」の運営スタッフを募集しています(市内在住・在学の高校生に限ります)。毎月2回会議を行い、コーナーに置く本の選書やPopづくり、『YA たいむず』の編集、講演会の企画などの活動をしています。今年も、YAスタッフ(運営スタッフ)でイベントを企画し、作家による講演会などを行う予定です。図書館の運営に携わることができたり、他校の生徒と交流できたりと貴重な機会となりますので、ぜひお気軽にお問合せください。

〈お問い合わせ先〉
伊丹市立図書館ことば蔵(YA担当)
☎072-783-2775

令和3年度 伊丹市マスタースポーツフェスティバル／ レクリエーション スポーツ体験会

秋晴れの爽やかな気候の中で令和3年11月13日(土)に伊丹市マスタースポーツフェスティバル／レクリエーションスポーツ体験会が伊丹スポーツセンター陸上競技場で開催されました。

今イベントは、生涯スポーツの国際総合競技大会である「ワールドマスタースゲームズ2021関西」が開催(開期未定)されることに併せ、伊丹市においてもマスタースポーツ世代を中心にスポーツに触れる機会を生み出すことを目的として、ニュースポーツの一種である、ペタンク、フライングディスク、グラウンドゴルフの体験会をスポーツ推進委員協力のもと実施しました。当日は多くの方にご参加いただき、子どもから大人まで楽しんでいただきました。

スポーツ振興課では、だれでも気軽に楽しめるニュースポーツの普及活動として、用具の貸し出しや出前講座などを行っております。また、市内各小学校内にあるスポーツクラブ21でもスポンジボールテニス、いたっボールなどたくさんニュースポーツを楽しむことができます。何か新しいことを始めたいと思っている方、ぜひスポーツ振興課(072・784・8088)までお気軽にお問い合わせください。



グラウンドゴルフの様子



ペタンクの様子

市立伊丹ミュージアム

4月22日(金)グランドオープン

昭和47年の開館以来、本市の自然・歴史・文化を発信してきた伊丹市立博物館は宮ノ前地区へ機能を移転し、美術館・工芸センター・伊丹郷町館・柿衛文庫と共に伊丹の新たな歴史・文化・芸術の総合的な発信拠点「市立伊丹ミュージアム」としてオープンします。

伊丹ミュージアムでは、「酒と文化の薫るまち」を基本テーマに美術・工芸・俳諧・歴史と多分野におよぶ収蔵品を中心とした、子どもから大人ま



市立伊丹ミュージアム 外観イメージ

で楽しめる様々な展覧会や講座をはじめ、日本遺産の認定ストーリーで伊丹の酒造りを伝える国指定重要文化財「旧岡田家住宅・酒蔵」と県指定有形文化財「旧石橋家住宅」の公開など、幅広い世代に多様な学びと体験を提供します。

また、多彩な芸術文化を市内外に広く発信し、芸術文化を通して「人」と「まち」をつなげる活動を行います。

■常設の歴史展示室では、伊丹の歴史を、市内遺跡から出土した遺物や所蔵品を紐解きながら紹介しています。江戸時代の村を取り上げたテーマ展や昔の道具を紹介する「むかしのくらし」展などの企画展も開催します。

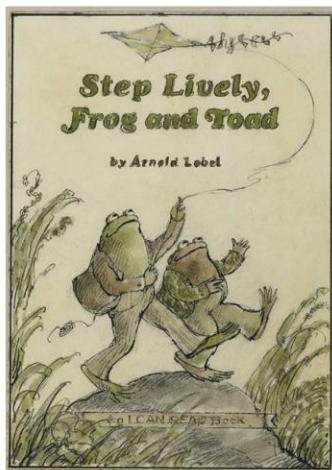
また、旧岡田家住宅では、伊丹の江戸時代の酒造りについて、「日本山海名産図会」を用いたアニメーション映像などで分かりやすく解説しています。俳句やくずし字をクイズなどで楽しく学べる「俳諧・俳句ひろば」やジュエリー、手織、陶芸などのものづくり体験ができるアトリエも設けています。

■4月22日(金)から6月5日(日)までオープン記念展として『がまくんとかえるくん』誕生50周年記念「アーノルド・ローベル展」など、3つの企画展を同時開催、オープン日から3日間は、オープニングイベントも予定しています。

他にも、所蔵品を基に多彩な展覧会や講座、イベントなど多数開催します。SNSなどで随時情報発信中です。新しくなったミュージアムに是非ご来館ください。

問 市立伊丹ミュージアム

(代表) 072-772-5959



アーノルド・ローベル展
『ふたりはきょうも』表紙下絵
Courtesy of the Estate of Arnold Lobel.
© 1979 Arnold Lobel. Used by permission of HarperCollins Publishers.

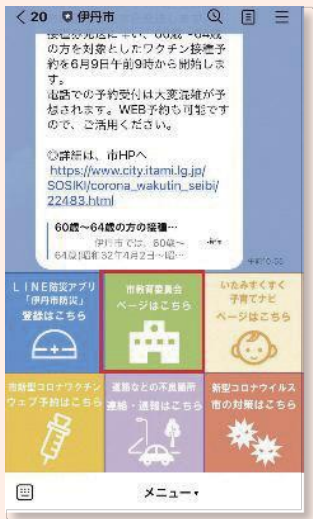
教育情報の発信について (お知らせ)

○教育情報誌「すくすくぐんぐん伊丹っ子」、教育広報紙「教育いたみ」は市のホームページにも掲載しています！

市教育委員会では、毎年、「すくすくぐんぐん伊丹っ子」(7月・12月)や「教育いたみ」(3月)を通じて、教育施策や教育情報を発信しています。

- ・「すくすくぐんぐん伊丹っ子」は、主に子どもやその保護者を対象に、学校および就学前施設における方針、活動内容や子どもに関わる講座、イベント等を掲載しています。
- ・「教育いたみ」は、当該年度の主要事業や学校園の周年行事等、一年間の教育関連情報を幅広く掲載しています。

伊丹市の公式LINEからも教育委員会のホームページにアクセスできますので、ぜひご登録を！

●●●地域で活躍しています!●●●
「御願塚文化財愛護少年団」

伊丹市御願塚4丁目にある、県指定史跡「御願塚古墳」の保存・継承を目的に、昭和43年に設立され、今年度は、南小学校の3～6年生15人が団員として活動しています。古墳を定期的に清掃するほか、地域の歴史についても学習し、環境問題など生活に関わるものを大切にしていこう心も育んでいます。市ホームページ内「伊丹市文化財愛護少年団」にアクセスを！



11月「市内史跡一斉清掃」の風景



古墳内濠南東より墳丘を望む



円筒埴輪出土状況 (平成10年発掘調査)

相談窓口の案内

●子どもと保護者の悩み相談…少年愛護センター

☎072-770-8742

学習、友人関係、いじめ、家族関係、不登校、問題行動
…なんでも気軽に相談を。

(電話相談) 平日:午前10時～午後5時半

(来所相談) 平日:午前10時～午後5時

※予約制です。



●教育相談…総合教育センター

☎072-772-6171 (電話相談)

☎072-780-2484 (来所相談)

お子様に関する様々な悩みや課題、問題等の相談に応じています。

(電話相談) (来所相談)

月曜・火曜・木曜・金曜:午前9時～午後6時

水曜・土曜:午前9時～午後5時

※来所相談は予約制です。

